

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
ブックスタート事業「はじめての絵本」			北図書館・北保健センター・企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3	
乳児とその保護者に絵本を配布するとともに、読み聞かせを実施する。これらを通じて参加者が親子の絆を深めるとともに、保護者に子育ての喜びを感じてもらう。	・北保健センターで行われる4か月児健診時(月2回実施)に北図書館で選定した絵本を配布する。 ・北保健センターで実施する「エンジェル交流広場」で、ボランティアによる読み聞かせを実施する。	絵本の配布数	1,520冊	1,742冊	1,405冊	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト		④効率性		
○ 乳児とその保護者に絵本に触れる機会を提供し、ボランティアによる読み聞かせを実施することで、親子の絆の深まりや子育てしやすいまちづくり、地域住民との相互交流に繋がると考えられ、行政が実施すべき事業である。	× 例年、絵本の読み聞かせを北図書館職員と市民ボランティアが連携して実施していたが、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により読み聞かせを中止したため、区民との協働事業としては実施できなかった。	△ 例年は絵本の配布に加えて市民ボランティアによる読み聞かせを実施しており、その際に絵本を活かした子どもとのふれあい方、親子の時間の楽しみ方などのアドバイスを行っていたが、読み聞かせを中止としたため、その点で事業効果は限定的とならざるを得なかった。	○ 北保健センターで実施している4ヶ月健診に合わせて絵本を配布しており、対象者に効率的に配布することができている。			
⑤自立発展性	総合評価					
△ 行政が絵本を購入し、対象者に配布することから、区民が自立して実施することは難しい。読み聞かせについては、ボランティアが主導となって自立発展できる可能性がある。	○ 本事業によって、子どもの心(情緒・想像力・創造力)を育てるとともに、親子の絆を深め、保護者に親子の触れ合いの大切さを感じてもらえることに役立っていると考えられる。					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
拡充 継続 見直し 廃止	絵本の配布・読み聞かせを通じて親子の触れ合いや子育ての喜びを感じてもらうことに寄与しており、事業を継続させていく必要があるものとする。事業の要素の一つである読み聞かせについては新型コロナウイルス感染症の影響によって中止が続いており、今後の実施手法について検討する必要がある。					